

雌阿寒岳

○InSAR解析による地殻変動

雌阿寒岳周辺の地殻変動の検出を目的として、ALOS/PALSARデータによるInSAR解析を行った。雌阿寒岳地域における非積雪期のデータのうち、軌道間距離が最短で、変動抽出に最も適したペアを用いた。その結果、雌阿寒岳の東側において最近1年間のいずれかの時点での地殻変動の発生を示唆する位相変化が得られた。位相変化は、観測地域西側を飛行した衛星に向かう視線方向距離が、変動域の中心部付近で約6cm短縮したことを示しており、膨張性の変動と考えられる。

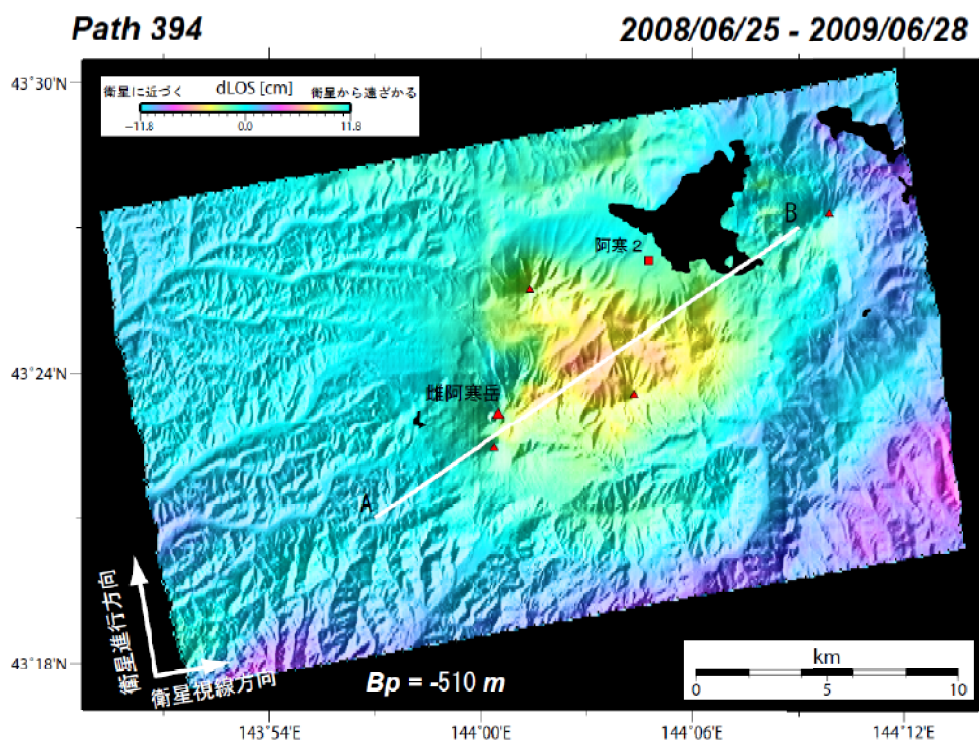


図1 2008/6/25と2009/6/28に観測されたSARデータを用いた干渉図。Path394（上昇軌道）のデータを使用。地形縞の除去には国土地理院50m数値地図を使用した。

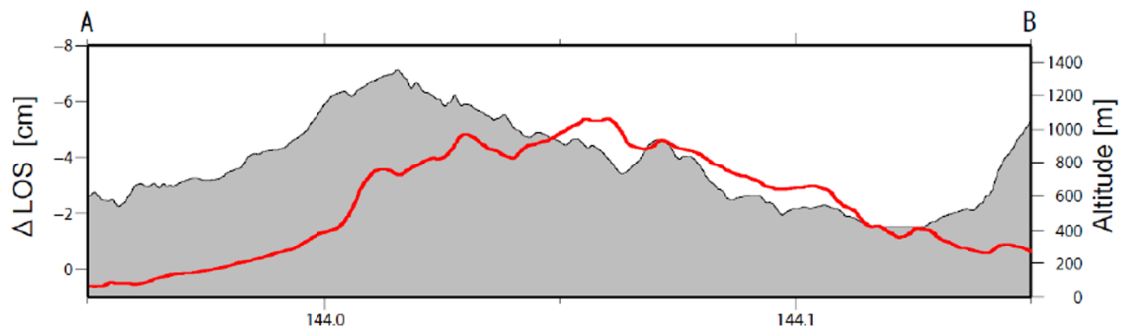


図2 衛星視線方向距離の変化量の断面（赤線）。灰色部は地形の断面図。

謝辞：本研究で用いたPALSARデータは火山噴火予知連絡会・衛星解析グループから、宇宙航空研究開発機構(JAXA)との共同研究契約によりJAXAから提供されたものです。PALSARデータの所有権は経済産業省およびJAXAにあります。